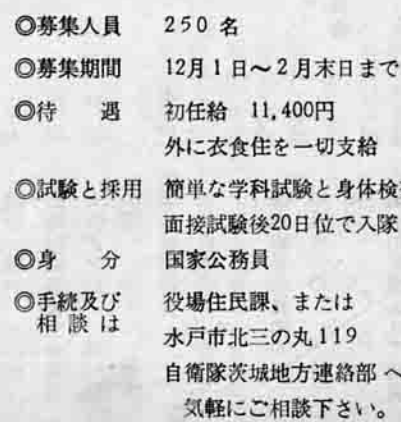


折戸橋は
31日 完成
られたもの
ができあ
025,000円



議会議員投票者調 (カツコ内は有権者)

地区	投票者			不在投票人	投票率		
	男	女	計		男	女	計
柿岡	1,213 (1,355)	1,410 (1,557)	2,623 (2,912)	17	89.5	90.6	90.1
小幡	966 (1,051)	1,102 (1,205)	2,068 (2,256)	2	91.9	91.5	91.7
芦穂	980 (1,066)	1,106 (1,183)	2,086 (2,249)	13	91.9	93.5	92.8
恋瀬	970 (1,042)	1,072 (1,141)	2,042 (2,183)	9	93.1	94.0	93.5
瓦会	759 (829)	851 (910)	1,610 (1,739)	4	91.6	93.5	92.6
園部	1,075 (1,172)	1,185 (1,274)	2,260 (2,446)	5	91.7	93.0	92.4
林	810 (869)	898 (949)	1,708 (1,818)	4	93.2	94.6	94.0
小桜	896 (979)	964 (1,064)	1,860 (2,043)	3	91.5	90.6	91.0
計	7,669 (8,363)	8,588 (9,283)	16,257 (17,646)	57	91.7	92.5	92.1

町発展の抱負を胸に



開票結果

十二月二十四日、町民の審判をうけて選ばれた三十人の議員さんが、九日の初議会に全員出席しました。開票の結果は、新人の進出がめざましく、全議席の約半数をしめた。投票率は九二・一％とよい成績でした。

新議員の内訳

定数	前	元	新
30	8	8	14

写真は (敬称略)
前列右から、広瀬、大槻、鈴木、高橋、馬立、町長、桜井(浩)、助役、土田、永井、青木、原田
中列右から、川井、高野、市塚、関、入江、島田、桜井(光)、鬼沢、綿引、渡辺、関野
後列右から、潮田、飯田、中島、田中、小松、桜井(敏)小貫、友部、岡崎、収入役
役場前にて

保育所十周年を迎える

記念に国旗掲揚塔など贈られる

十二月十二日
午前十時より、
保育所創立十周
年記念祝賀式典
が保育所内ホー
ルにおいて催さ
れ、十一時三十
分盛会のうちに
終了しました。
この日來賓と
して、土浦福祉
事務所長をはじ
め、滝田県議
議員、地元関係者、父母の会
々員約百三十名が出席し、式
は藤代助役の開式のことばに
はじまり、町長、福祉事務所
長ほか來賓のあいさつのあと
保育所創設以来の功勞者、元
柿岡町長故吉田李平さんほか
四名に対して感謝状と記念品
が贈られました。
また、園児には、町長より
オモチャの贈りものがあつて
大喜びでした。
なお、この十周年を記念し
て、滝田県議會議員より国旗
掲揚塔、小松町議會議員より
日の丸の旗がそれぞれ贈られ
ました。

老人クラブぞくぞく誕生

27のクラブに助成金

老後の生活を健全で豊かなものにと、老人福祉法が作られ、この福祉法の中には老人クラブを育てることがめざされております。

町内でも、福祉法の制定を機会に、老人クラブ活動が活発になり、現在各地区に四十一のクラブが誕生し、楽しい集まりが毎月開かれております。

このクラブには、福祉法の

放水試験の
消防自動車

強力な

消防自動車購入

火災が発生したとき、被害を最小限にいくいとめることが消防にとって大切ですが、本部才二分団の消防自動車が使用できなくなったので、今度森田ポンプ株式会社より消防自動車を百六十六万一千七百円で購入しました。

とニッサンパトロールの車体をそなえた自動車で、前輪駆動のため、急な坂でも楽にのぼることができます。

また、火災の場合に二本のホースから同時に水を噴射して消火できる強力なポンプをそなえています。

しかし、この消防自動車が

愛のいる明

を
んき
うほ
ぞ竹

学校へ

が
会員百寿会瓦

恋瀬百寿会員

「さし、は学校こ」と

学校では、おじいさん、おばあさんの心暖まる思いやりに感謝しています。

老人ホームを訪問

暮もおしつまった十二月
二十七日、老人大学生が土
浦にある老人ホームの人た
ちを慰問しました。

有線放送に記入して下さい

地区	回線番号	氏名	備考
柿岡	8 6	川井芳郎	履物
"	8 25	富士屋	セトモノ、締打
小幡	8 34	戸田建設KK	
"	31 41	高橋 秀吉	
瓦会	12 20	ムツ民クアシー瓦会支店	
"	30 25	佐久公民館	

乗用車とりかえる

昨年暮れに、新しく購入された64年式ニッサンセドリック乗用車。まへの乗用車と同じに毎日忙しく走り回っております。

『入植地は理想郷』

グワタパラの有賀・鈴木・石崎・高木氏

この座談会は、昨年発行されたブラジル茨城県入

会の機関紙「つくばね」二号に掲載された、グワ

入植の感想

まず入植の感想と心構え
入植地は、鈴木、石崎、高木
の各氏は全く理想郷に入植で
きたことを幸福だと思つて、
鈴木氏
「何といつても一年生です
から、どこまでも先輩の皆さ
んのお引立によりその意見を
聞いて、初期の成功を期した
と思つています。時には失
敗もありましたが、失敗は
成功のもとといわれますか
ら、たとえ失敗に失敗を重ね
ても成功への道程と思つて、
それに負けぬ覚悟で進みたい
と思つてます。」
石崎氏
「自分は満洲に十五年ほど
いて、終戦と共に引揚げてき
て、茨城県で開拓をしていま

高木氏
「自分は一月十八日にここ
に入植してきましたが、幸福
だと感謝しています。」

グワタパラ移住者募集

機械化で米作、蔬菜、
果樹、園芸、畜産の大規
模経営を目指して。
募集人員 四十四家族
共有地 千坪の土地
が本拠出身者のために
確保されています。

「開拓者らしく、自分で
選んだ土地に對し、自信を持
っています。」
高木夫人
「私の家では、ボン(パン)
は、おやつ位にしかいただき
ません。」
石崎夫人
「私の家では、満洲にいま
したから、何でもいたたく習
慣で、食事に不足は言わない
ことにしています。」
それに今は落着きましたか
娘などは、最初は日本の服か
さにひかれて帰りたいなんて
言つておりましたが、子供
には日本の生活のきびしさが
解らなかつたのも無理はない
と思つてます。でもこのよさ
にすぐなれました。」
と、町出身の奥さん方はい
つておられますが、まだ移住し
て日数が浅いためでしょう
か、永らく住んでいる先輩奥
さん方は、やはりブラジル式
で気候や風土に合った食事を
とらなければ体力を保持しな
いといふこと、日本式は時々
り入れているといふことです。
作物のことには話がつり
ますと……
高木夫人
「今日茄子をちぎつても、
翌日には又大きくなつてい
るのには驚きました。発育が
とてもいいんですのね。」

大人の仲間入り

新春に入つて今年も成人
の日を迎えますが、子供の
時代をおえた人たちが、遠
大な希望をいだいて大人の
仲間入りをするという記念
すべき日です。

みんなで祝おう

「成人の日」といふもの
がまだ一般によく認識され
ず、社会も個々の家庭でも
大人への仲間入りの日であ
るという自覚を、もたせる
ような祝ひ方ができていな
いようです。

一生に一度のこの日を、
両親はもとより、家族や周

紙上講座

人生のスタートライン

『成人の日』

自分で責任をもつ

成年に達した以上、両親の
責任は一応終り、全面的に親
や先輩に甘えるべきではない
でしよう。
賢明な若い人達は、何ごと
にも自分の責任において、十
分の批判力を持ち、善処すべ
きです。

戦後日本には、外国からい
ろいろなものが入ってきたが

成人としての第一歩

本人が一生身近に使えるもの
例えば、腕時計やオルゴール
入りの目覚時計などを贈るこ
とが、よいことではないでし
ょうか。

移動図書館「ときわ号」 2月の巡回日

駐車場	巡回日と駐車時間
林農協前	12日午前11:50～午後0:40
芦穂	午後1:50～午後2:40
小幡	午後3:10～午後4:00

(移動図書館の本は共同巡回文庫と同様で、
も無料で約1ヵ月間借りることができます)
(あるある読みたい本が一芦穂農協前で)

有賀夫人

「トマトや豆をこんな
に沢山つくつても、いくらで
も売れるなんてブラジルは随
分使われるんですね。」
と、発育の早いことと、消
費者が不足するほどの需要を
かかいて驚くとともに、将来
のものとあつて明るいことが約
束されているようです。
多く栽培されている作物と
しては、トモロコシ、西瓜
マンジョリカなどで、特にト
ーモロコシは需要がはげしい
ことを強調しています。

高木氏

「よく百戦百勝は人の和に
ありとかがいわれますが、何事
にも各自が協力しあつて、よ
い村を作らねばならないと思
います。ゆがけの功名などは
失敗のもと、どこまでも固
く手を握り合つて行きたいと
思つてます。」
と、決意を固め、成功への
道はあくまでも人の和である
ことを強調しています。

南中学校 三年連続「総合優勝」 八郷一周駅伝大会で



(一着でゴールインの小幡教場生井君一役場前決勝点)

第十七回八郷一周駅伝競走
は総合で南中学校小幡教場が
三年連続新記録で優勝した。
今年は八郷高校、役場チー
ムが初めて参加して争われた



暮らしのメモ

晴れ着にしみ!!
お茶でとれる
お正月の晴れ着を
しまうときに大切な
ことは、汚れをと
すことです。そこで
晴れ着のしみ抜きに
ついてのべてみましょう。

炭火などに注意

一酸化炭素で中毒
暖い部屋で気持ちがわるく
なったり、めまいや頭痛がし
たりといふことは、よく経験
したことがあるのを防ぐた
めに、しみのまわりに広くキ

俳句

増子海哉選
宇治会 萩原 美穂
「椿名にて」
骨を刺す風は枯木を掃いて鳴
る 細谷 金沢鷹代志

短歌

吉田次郎選
半田 関 寧寿
ひんがしの雲あかあかと染め
ていま元日の太陽のほり初め
たり

順位	チーム名	時間
①	南小幡教場	2,16,02
②	南小幡中	2,16,25
③	南小幡中	2,19,12
④	南小幡中	2,19,47
⑤	南小幡中	2,20,24
⑥	南小幡中	2,20,47
⑦	南小幡中	2,21,34
⑧	南小幡中	2,23,05
⑨	南小幡中	2,24,37
⑩	南小幡中	2,25,56
⑪	南小幡中	2,26,10
⑫	南小幡中	2,27,13
⑬	南小幡中	2,32,42
⑭	南小幡中	2,39,01
⑮	南小幡中	2,40,24

お都蘇機嫌の七福神がうたで
乗り込む宝船
選者 詠
柿岡 寿無限生
鉢の紅梅見事に咲いて春が来
たと匂い鳥
選者 詠
半田 関 寧寿
年賀状の絵版画巧みにて受
けて煩々笑む辰歳の祖母
選者 詠
細谷 金沢鷹代志
ケネディの不慮の死をきくこ
の晨乳いろの霧街をときせり
選者 詠
元日の朝晴れにけり妻に子に
いたわれ居る心ゆるびを
選者 詠
半田 関 寧寿
柿岡 寿無限生
鉢の紅梅見事に咲いて春が来
たと匂い鳥
選者 詠
お都蘇機嫌の七福神がうたで
乗り込む宝船
選者 詠